

第2回総会報告

中之藺賢治代表幹事

いささか旧聞に属するが、平成15年4月12日(土)JICA横浜国際センター会議室において平成15年度総会(第2回総会)が開催された。ゲストにJICA,YICの萱島業務課長、金木課長代理をお招きし、出席会員18名、委任状多数を得て開催した。萱島課長からは「本会が神奈川の国際交流の一翼を担うようになる事を期待する」との御挨拶を頂いた。続いて出席会員の自己紹介ののち議事に入り

1. 平成14年度活動報告
2. 平成14年度会計決算報告
3. 平成15年度活動計画
4. 平成15年度会計予算

が上提され、原案どおり承認された。なお、これらの詳細については総会直後に全会員に(除く出席会員)発送し報告に代えさせて頂いた。終了後YICレストランにおいて懇親会を開催し出席者全員の参加を得た。



第2回総会



萱島信子YIC業務課長のご挨拶

JECK拡大名簿作成

谷保茂樹事務局長

本年1月の発足時から2度の総会、懇親会を通じて、また会員との連絡の折々などに会員募集の不徹底さを多くの方からご指摘いただきました。現在の会員名簿は、準備期間であった平成14年度の神奈川県専門家派遣実績を元にして発起人が該当者に呼びかけ、同意をいただいた方に発足会への参加を案内し、その結果設立されたものです。それでも百名以上のご賛同をいただき、全国に40以上ある他都道府県の専門家連絡会と比べ規模的にも遜色がなく発足できたと関係者一同考えておりました。

その後、JICA本部派遣支援部が平成12年に作成した専門家名簿を入手したところ神奈川県だけで1,800名もの帰国専門家がリストアップされており、まさに発足会員は氷山の一角である事がわかりました。従来から首都圏における専門家連絡会は設立困難と言われて来たことを実感しました。今般、この名簿を元に、まだまだもれているとは思いますが、JECK拡大名簿を作成しました。新たに本会の存在を広報すべく連絡を開始しましたので、その結果は年末の会合時のお楽しみとして下さい。

「かながわNPOマネジメント・カレッジ2003」受講記

物部宏之監査役

NPOやNGOの活動については各方面から支援の手が差し伸べられているが、6月から7月にかけて神奈川県福祉事業協会と神奈川県遊技場協同組合の主催により5回にわたって「組織運営」「財源確保」についての実践講座があり、当会も参加を申し込み、役員の谷保と物部が手分けして出席した。

組織論としては「個人の経験を組織の力に変換」して経験を共有化し運営の高度化を図る、「企画力、事業計画力を高めるため」事業計画を手法にのっとりバランスよく立てる、「協力者を募り」感謝、報告を怠らない、といった事が参考になった。

「財源確保」については組織運営上のフリーハンドを確保するため自主財源(会費や事業報酬)を確保し、心構えとしては、「親戚知人にもPRするぐらいにのめりこんで」会員拡大を図り、拠出していただいた会費の意義ある使い方に対して報告をせよ、また、何に使うかについてはいつも概算数字を念頭に於いて活動せよと強調していた。参加者は30団体50名で、小は年度予算が数万円(地域の通学路清掃の会)から大は十億円以上(シャプラニール=市民による海外協力の会)まであり、当会の位置を確認するとともに、将来は法人化も視野に入れる事になるのではないかと感を得た。

今回の受講を契機に先ず会員拡大をはかるべく従来からの神奈川県帰国専門家約1800名に対して勧誘のアクションを起こし始める事とした。また非公式役員会を都度開催し事業の展開、拡大の方策を探っている。JECK会員には省庁や大学、企業で長年活躍され、経験豊富な方も多い。今後その方達の経験が生かせるよう、会員に広く呼びかけ、できるだけ当事者として参加していただけるようにしたいと考えているのでよろしくお願いする次第である。